

帝人株式会社 ■ 広報・IR室

- 東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
- 大阪本社 〒541-8587 大阪市中央区南本町1丁目6番7号 TEL.06-6268-2763 FAX.06-6268-3010
- URL <http://www.teijin.co.jp>

2008年6月26日

シンガポール公益事業庁との排水処理技術の共同開発について

帝人株式会社

帝人株式会社(本社：大阪市中央区、社長：大八木 成男)は、本日、シンガポール共和国の公益事業庁(Public Utilities Board, Republic of Singapore、以下PUB)と排水処理技術の共同開発に関する覚書(MOU)を締結しました。

当社は、注力市場の1つである環境・エネルギー分野において水処理事業を展開していくこととし、2007年8月、社長直轄組織として「WPT事業推進班」を設置しました。現在は、排水の再利用や処理に関して、省エネルギーおよびCO₂削減を基本コンセプトとした技術開発、事業展開を目指しており、帝人グループのリソースを結集して早期事業化に向けた準備を進めています。

一方、シンガポール共和国の水資源を統括・管理する官庁であるPUBは、排水を飲料水として再利用する「NEWater計画」の達成に向けて高度な排水再利用技術の開発を進めており、排水処理に関する様々な知見と実績を有しています。

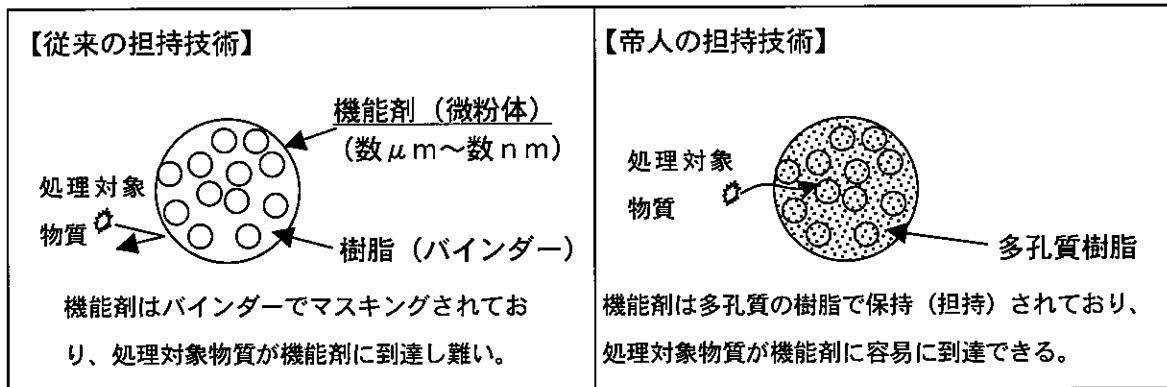
この両者が、水の「再生・再利用」という観点からコンセプトや方向性の一致をみたこと、およびお互いの排水処理技術に対するニーズが合致したことから、このたびの覚書を締結することとなりました。

この共同開発に関する覚書に基づき、当社は過酸化水素添加多段式オゾン処理技術、および機能剤担持技術(*)をはじめとする膜に限定しないユニークな高度水処理技術を、PUBは排水処理、再利用に関するプラントの運用実績から得られた高度な知見および共同実験場を提供し、共同でより実用的で高度な新排水処理技術の開発を進めていきます。

具体的には、「NEWater計画」の最終段階に関わる技術として、過酸化水素添加多段式オゾン処理技術について、パイロットスケールでのテストを実施する予定です。一方、機能剤担持技術については、各種排水中の特定物質の除去や高度処理を行うことを視野に、大学などとの共同研究を行い、将来的にはPUBと共に実用化研究を実施する予定です。

当社は、幅広い排水処理技術を提供することにより、NEWaterを製造する新たなプロセス開発に貢献できることを目指しており、さらにシンガポールでの技術開発結果を基盤として、広く世界の排水再利用、省エネルギーおよびCO₂削減に貢献し、世界に向けて水処理事業を共同展開していきたいと考えています。

(*) 機能剤担持技術：吸着剤などの微粉体の性能を保持したまま、微粉体を多孔質の樹脂で接着して造粒する技術。



以 上

【当件に関するお問合せ先】

帝人株式会社 広報・IR室

[東京] (03) 3506-4055 [大阪] (06) 6268-2763